

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年11月5日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、不適合の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

区分Ⅰ 0件

区分Ⅱ 0件

区分Ⅲ 0件

その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/1/29	
2	入域検査に使用する検査装置が、正常に動作しないことを確認した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/4/16	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返すことを確認した。 調査の結果、環境影響による誤検知であったことから、当該周辺環境を整備し、正常な状態に復旧した。なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2024/5/31	
4	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返すことを確認した。検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/9/9	
5	核物質防護上の障壁に破損を確認したことから、当該損傷箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入防止機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2024/10/20	